

施策	6301 魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	観光客						
施策が目指す姿	観光交流・レクリエーション拠点の整備・充実、多彩なイベント等の開催支援、拠点施設の適切な維持・管理、観光地としての知名度の向上を図る。						
成果指標	観光客の満足度率（再訪問の意思）現状値 86.7% H29年度目標値 90%						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ % ]	予定	86.70	87.50	88.00	89.00	90.00
		実績			75.20		
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	255,105	279,480	276,312	283,041		
	実績	261,061	289,144	287,911	316,863		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「観光客入込数」を向上させるためには、観光地としての魅力ある拠点づくりが不可欠であるため、本単位施策の貢献度は高い。					
	達成状況	各事務事業は適正に行われている。昨年度実施されたアンケート調査の結果を踏まえ、観光客満足度を更に向上すべく、検討がなされた。					
	課題	観光客の満足度を向上させるべく、観光関係者・住民・行政など、地域が一体となって観光振興に取り組む体制を整える必要がある。					
	取組方針	各事業における連絡・調整・検討の体制を強化し、関係者全員で観光資源の発掘・磨き上げを行うとともに、実施状況を広く周知し、地域全体で誘客促進を図る。					
外 部 評 価	<p>本施策の成果指標は毎年度数値を把握できておらず、指標の見直し、または数値の把握方法について次期計画での改善を求めたい。</p> <p>また、外国人観光客に対する誘客強化のタイミングに併せて、本施策を推進するうえで必要な外国人観光客の動向等を判断する指標の設定も検討されたい。</p> <p>次期計画に新たな指標の反映が難しい場合は、事務事業レベルで目標の設定を求めたい。</p> <p>特に、観光施設や観光案内媒体の多言語化や多様な体験メニューの創設、既存の観光資源の新たな発信方法などへの取組みを期待したい。</p> <p>さらに、知名度の低さを解消する手段として、SNSを活用した情報発信は有効であると思われるため、観光施設での撮影許可など規制の緩和も検討されたい。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	310501	観光資源開発活動補助金（栃木）				16,763	100
	310502	観光資源開発活動補助金（大平）				3,209	100
	310503	観光資源開発活動補助金（藤岡）				2,385	100
	310601	とちぎ秋まつり負担金				24,500	100
	312901	キュービクルカバー制作設置委託費				1,543	100
	313302	観光行事負担金（大平）				13,900	100
	313303	観光行事負担金（藤岡）				10,420	100
	313406	観光行事補助金（岩舟）				13,450	100
	315806	はなやかな町づくり事業費（岩舟）				846	100
310506	観光資源開発活動補助金（岩舟）				2,200	99	



平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	6301 魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成		
区分	妥当性	妥当	イベント開催の支援、観光施設の管理等を適切に行い、観光地としての魅力を向上させるため必要な事業であり、実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業実施後の成果や効果を検証することで、適正なコストの再確認を行う必要がある。
	受益者負担	適正	施設の維持管理に係る費用や各種イベントに係る支援など、受益者負担は適正である。
	上位貢献度	有効	「観光客入込数」向上のための貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	他の類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	地域が一体となって観光振興に取り組むことにより、更なる成果向上が見込まれる。
内部評価	貢献度	上位施策「観光レクリエーションの振興」の目標指標「観光客入込数」を向上させるためには、観光地としての魅力ある拠点づくりが不可欠であるため、本単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	各事務事業は適正に行われている。平成28年度はアンケート調査を行っていないが、平成27年度の調査結果を踏まえ、各事業において観光客満足度を更に向上すべく、検討がなされた。	
	課題	観光客の満足度を向上させるためには、観光関係者だけでなく、地元住民や行政も含めた地域が一体となって観光振興に取り組む必要がある。	
	取組方針	各事業の計画の段階から実施に至るまで、連絡・調整・検討の体制を強化し、関係者全員が観光資源の発掘や磨き上げに関わることができるようにする。また、事業実施状況を広く周知することで、地域全体で誘客促進を図る体制を整える。	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	070104	予算事業コード	310601	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ秋まつり負担金							主	6301	観光レクリエーションの振興		魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成			
担当部課 係・担当チーム名	産業振興部 観光振興課 観光イベント係					担当者	茂呂 一則		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等						事業期間	H22 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	73,000		千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) とちぎ秋まつりを栃木商工会議所、栃木市観光協会、栃木市商店会連合会、とちぎの山車祭り伝承会と共催する。 【主要事業】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・とちぎ秋まつりを開催し、多くの観光客を誘致する。 ・とちぎ秋まつりを積極的にPRすることにより、市全体の観光振興を図る。						
	単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込		成果目標	観光客の満足度率(再訪問の意思)現状値 86.7% H29年度目標値 90%									
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成27年度				平成28年度					
	県支出金		0	0		【事業の内容】 隔年開催のため未実施				【事業の内容】 とちぎ秋まつりの開催					
	地方債		0	0		【成果】 ・主催者負担金の支出 ・9台の山車と1対の獅子頭、計10町内の参加 ・11月11日(金)~13日(日)の開催									
	その他特財		0	3,000											
	一般財源		0	14,000											
	事業費 a		0	17,000											
	人件費 b		150	7,500											
減価償却費 c		0	0												
総事業費 a+b+c		150	24,500	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1	0.00	380,000.00	観光客入込数	とちぎ秋まつり観光客入込数 H28目標値 350,000人		人	妥当		有	余地有	有効	無	有		
結果指標 2	0.00	3.00	開催日数	開催日数 3日		日									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・まつりの総経費の削減を図るとともに、独自財源の確保を更に充実させる。 ・市民全体のまつりとして、市民全体で支える仕組み、広く市民が参加できる仕組みを構築する。														
事後評価備考															